

令和6年度 福島県白河市教育委員会指定

白河第二小学校第40回研究公開 <2次案内>

研究
主題

教科の本質に基づき、児童の主体的学習態度を育てるためには、
授業をどのように改善したらよいか。



令和6年
11月22日
(金)

研究

探求し続ける問題解決的な学習

副主題

<国語科・社会科・算数科・理科・特別支援教育>

福島県白河市立白河第二小学校

〒961-0963 福島県白河市日影2番地8
TEL 0248 (23) 3242 FAX 0248 (22) 1902
URL <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>白河第二小学校
E-mail shirakawa2-e@fcs.ed.jp

本校 HP は
こちらから



交通案内

- ◇ 東北新幹線 新白河駅下車（駅前東口よりタクシー5分・徒歩15分）
JRバス白棚線 白河高校前下車徒歩5分）
- ◇ 東北本線 白河駅（駅前よりタクシー5分・徒歩15分）
- ◇ 入口は校庭側になっております。自家用車またはタクシーでお越しの方は、校庭南側（白河高校側）よりお入りください。



参加申し込み方法

- ◇ 参加ご希望の方は、本校HP「第40回研究公開参加申込フォーム」にて10月31日（木）までにお申し込みください。

- ◇ 参加申込Googleフォームアドレス

<https://forms.gle/AXL2oSxLs9gfRCJHA>

申込は
こちらから



【フォーム用 QR コード】

- ◇ 「参加申込フォーム」は本校 HP からアクセスできます。

白河市小中学校ポータルサイト <https://shirakawa.fcs.ed.jp/> 白河第二小学校

研究資料代・昼食

※研究資料代・昼食代は、現金払いのみといたします。

- ◇ 2,000 円（研究紀要・要項代）
- ◇ 昼食のお弁当を本校で斡旋販売いたします。昼食（お茶付き 税込500円）をご希望の方は、本校HP「第40回研究公開参加申し込みフォーム」または、別紙「参加申し込み書」でお申し込みください。昼食代は、当日受付でお支払いください。

毎日の授業の中で「探求し続ける子どもたちの姿」を目指して、
子どもたちに「生きる力」を育む問題解決的な学習を実践しています。

授業 II

授業 I

国語	1の1	せつめいするぶんしょうをよもう「じどうしゃくらべ」	加藤 真理
	4の1	気持ちの変化に着目して読み感想を書こう「ごんぎつね」	渡邊 寿子
	5の1	伝記を読み自分の生き方について考えよう「やなせたかしーアンパンマンの勇氣」	小松 荘子
社会	3の2	くらしを守る「火事からくらしを守る」	橋本 龍太郎
	6の1	日本の歴史「明治の国づくりを進めた人々」	松本 尚子
算数	2の1	かけ算(2)「九九をつくろう」	吉田 勇樹
	4の2	計算のきまり「計算のやくそくを調べよう」	根本 みどり
	5の3	単位量あたりの大きさ「比べ方を考えよう(1)」	菅野 雄大
理科	4の3	物のあたたまり方	杉本 勝太
	5の2	物のとけ方	海老名 優希
特別支援	けやき1	国語「こえに出して読もう」	角田 英恵
	なかよし1	自立活動「なかよしタイム」	木村 智子
	なかよし2	自立活動「なかよしタイム」	菅波 士朗

国語	1の3	おもいうかべながらよもう「くじらぐも」	深谷 由奈子
	2の2	自分と比べて読み、とうじょうじんぶつに手紙を書こう「お手紙」	鈴木 恵里
	5の2	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう「固有種が教えてくれること」	鈴木 一郎
社会	6の3	日本の歴史「明治の国づくりを進めた人々」	黒羽 慶樹
算数	1の2	ひきざん	根本 拓実
	2の3	長方形と正方形「さんかくやしかくの形をしらべよう」	高橋 亮
理科	3の1	重さのたんいとはかり方「重さをはかって表そう」	東城 恵
	3の3	じしゃくのせいしつ	笹沼 光輝
特別支援	6の2	水溶液の性質とはたらき	森本 菜月
	けやき2	国語「季節の言葉」	小野寺 律恵
	なかよし3	自立活動「なかよしタイム」	玉木 宏樹

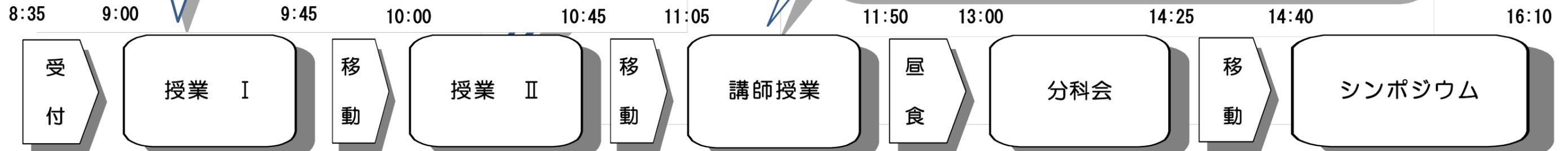
分科会

教科の本質に基づく授業や学び合いながら
考える力を育てる問題解決的な学習について
協議します。

(国語・社会・算数・理科・特別支援教育)

講師授業

国語科：弥延 浩史 先生 4の1
物語の「しかけ」を読む「ゆうすげ村の小さな旅館」
社会科：由井 健 先生 5の1
これからの食料生産とわたしたち「わたしたちのからだは()人？」
算数科：大野 桂 先生 2の3
「計算の工夫」
理科：富田 瑞枝 先生 3の2
「物の重さ」



テーマ

「探求し続ける問題解決的な学習」

<シンポジスト> 筑波大学附属小学校の先生方4名

<コーディネーター> 本校校長 稲川 竜寿

国語科 弥延 浩史 先生
「学習者主体の授業を創る」

- 1 文学的文章の授業づくり
 - ・読後感から始まる文学的文章の授業
 - ・子どもの側から「問い」を生み出すために
 - ・「〇〇したい！」全員参加の国語授業へ
- 2 学びの土台をつくる
 - ・国語授業で学級づくり
 - ・前向きな学習集団にするための教師の役割

社会科 由井 健 先生
『みんなが幸せになるために
「どうすればよいのか」問い続ける』

- 1 社会的事象を「人のいる風景」として見つめ
- 2 「事実とのインパクトのある出会い」から
- 3 「自分たちの問題」を追究する

算数科 大野 桂 先生
「子どもに委ねる算数授業」

- 1 なぜ委ねるのか
- 2 何を・どのように委ねるのか
- 3 委ねる授業における教師の関わり

理科 富田 瑞枝 先生
「深い理解を目指す理科授業」

- 1 「子どもは何を知っているか」から、授業パターンを決める
- 2 「子どもは何を考えるか」から、授業を構成する